

[統計情報セミナーについて]>[平成21年度統計情報セミナーのご案内]

統計情報セミナーのご案内

平成22年は5年に1度の国勢調査が10月に実施される年です。国勢調査は近年、プライバシー意識の高まり、オートロックマンションの増加、留守世帯の増加などのため、調査票の配布・回収が難しくなっており、今回は郵送提出やモデル地域でのインターネット調査など新しい仕組みが導入されるそうですが、調査結果は国及び都道府県・市区町村、研究者、民間企業、国民の意思決定に基本的な情報を提供します。

今回の統計情報セミナーでは、『人口減少社会における地域政策のための統計とGIS』をテーマに、国勢調査の実施と利用について解説するとともに、さらに調査結果の利用のための有力なツールであるGISとその活用事例について紹介します。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

このセミナーは、同一テーマにより東京及び大阪で開催します。ご都合に合わせていずれかを選んでご参加ください。

なお、東京会場では、当財団の統計GIS活動奨励賞及び統計GIS研究助成の授与式も行います。

*** セミナーは終了いたしました。**

平成21年度統計情報セミナー

『人口減少社会における地域政策のための統計とGIS』

■ 平成22年国勢調査の実実施計画と結果の利用 (約50分)

講師 総務省統計局統計調査部国勢統計課調査官 羽淵達志

平成22年国勢調査については、引き続き精度の高いデータが得られるよう、調査方法の見直しなどを行い、人口減少期の我が国の人口・世帯の実態を明らかにすることとしている。平成22年国勢調査の計画と調査結果の利用などについて紹介する。

■ G-Censusの紹介とバージョンアップ計画 (約50分)

講師 (財)統計情報研究開発センター研究員 小西 純

(財)統計情報研究開発センターで開発した教育用GISソフト「G-Census」は、地域の人口の現状を把握するためのツールとして利用でき、大学の授業等でも活用されている。このソフトの自治体、大学に向けた今後のバージョンアップ計画について紹介する。

■ 統計情報の簡便な活用事例 (約50分)

講師 大阪産業大学人間環境学部生活環境学科教授 吉川耕司

統計情報は近年積極的に公開されてきているが、十分に利活用されているとはいえない。そこで、大学の授業や自治体における活用事例を紹介し、皆様に統計情報活用のアイデアを産み出してもらうための契機としたい。

* 開催要領及び申込方法 *

◆ 会場及び日時

【大阪会場】

日時：平成22年2月9日(火)

13時30分～16時30分(13時開場)

会場：[大阪国際会議場\(グランキューブ大阪\)](#)
12階「1202室」



(大阪市北区中之島 5-3-51 TEL 06-4803-5555)

※ JR大阪駅から無料シャトルバス「リーガロイヤルホテル」下車すぐ

※ JR・阪神福島駅、JR新福島駅から徒歩10分

※ 京阪中之島線中之島駅(2出口)すぐ

【東京会場】

* 会場が昨年度までと変わりました。ご注意ください。

日時：平成22年2月18日(木)

13時30分～16時30分(13時開場)

会場：[ベルサール神保町](#)
3階「ROOM3・4・5」



(東京都千代田区西神田 1-2-3 住友不動産千代田

ファーストビル南館 TEL.03-3346-1396)

※ 地下鉄(東西線・半蔵門線・新宿線)九段下駅(5出口、7出口)から徒歩3分

※ 地下鉄(半蔵門線・新宿線・三田線)神保町駅(A2出口)から徒歩3分

※ JR有楽町線、有楽町線から徒歩10分